

予算案と 施策



武蔵野市長
むらかみ もりひろ
邑上守正

●市政運営の基本理念および基本方針

景気は依然として低迷を続けており、市税収入が増加する要因は当面見当たりません。また、社会保障費の増加とともに、莫大な経費を要する都市リニューアルの投資も不可避な状況です。このような状況を踏まえると、限られた財源を効果的に配分する財政規律の維持は、今後の市政運営における、極めて重要な責務です。

市政の課題解決や新たな市民要望に対応するためにも、無駄のない、効率的で着実な市政運営を進め、元氣な武蔵野をめざします。

① 市民自治・コミュニティの活性化

（市民自治の推進と発展）
本市では、第1期基本構想・長期計画より市民自治を基本理念に掲げ、以来、市民参加による自治体運営の姿を追求してきました。今後も、より一層の参加型市政の発展をめざします。

市民生活や地域の課題解決のため、市民団体等への支援のあり方、協働事業のあり方（市民活動促進基本計画（仮称））を再構築するとともに、市民団体やNPOへの活動支援や育成を進め、協働事業の充実をめざします。

（地域の力の創出）

本市では、コミュニティ構想に基づき各地区のコミュニティセンターを拠点に、拡がりのあるコミュニティづくりが進められてきました。今

後も、笑顔を生み出す多様なコミュニティづくりを継続することで、「地域の力」が満ちあふれる武蔵野市をめざします。

② 市民文化のさらなる発展

（平和・文化の発信）

戦争の体験や歴史を伝える非核都市宣言平和事業を着実に推進するとともに、武蔵野に初空襲のあった11月24日を「武蔵野市平和の日」に制定し、市民とともに平和の大切さを後世へ伝えていきます。

「子ども文化・スポーツ・体験活動基金」を創設し、子どもたちの健全育成を推進します。いよいよ7月にオープンを迎える「ひと・まち・情報創造館 武蔵野プレイス」を、図書館・生涯学習支援・市民活動支援・青少年活動支援の4つの機能を併せ持つ、複合機能施設として活用されるよう努めていきます。

③ 安全で安心して 住み続けられるまちの構築

（子育てしやすいまちづくり）

認可保育園の定員拡充、グループ保育などの拡充、認定こども園の開設など、多様な保育サービスにより待機児解消を図るとともに、民間保育園、幼稚園の運営を支援し、質の高い保育、幼児教育の充実を推進します。

昨年のような猛暑の再来も予想されるため、市立小中学校の普通教室2部の特別教室に、空調設備を設置し、教育環境の一層の充

実を図ります。

（地域リハビリテーションの推進）

高齢者が地域で孤立しないように、市民の地域の居場所づくりや地域コミュニティづくりを支援し、支えあう地域福祉の充実をめざすとともに、高齢者や障がい者が住み慣れた地域で暮らし続けられるように、施設やサービス連携を進め、生涯にわたって途切れのない福祉サービスの充実を進めます。

（安全・安心なまちづくり）

市域全体での水害対策をはじめ、地震・火災・大雨対策を推進し、いざというときの避難支援などの地域の防災体制を強化し、防災力を高めます。また、吉祥寺の繁華街における安全確保と環境浄化を推進するとともに、警察や地域の関係者との連携を深め、犯罪や非行のないまちづくりを進めます。

④ 持続可能な都市基盤の構築

（エコシティむさしのの推進）

「エコシティむさしの」の実現を目標に、地域の温室効果ガス排出量の削減と生物多様性保全に配慮した暮らしへの転換を図り、環境負荷に配慮したライフスタイルの定着と持続可能な発展をめざします。

「セカンドステージ」ごみ減量チャレンジ600グラム」を目標に、さらなるごみ減量に挑戦するとともに、太陽光発電などの新エネルギー導入や、雨水の地下浸透や雨水利用による水循環を徹底します。

（公共施設や都市基盤のリニューアル）

公共施設は、ファシリテイマネジメント（FM）による計画的な維持改修により、予防保全に努めるとともに、既存施設の有効活用や資産所有のあり方などについても検討を進めます。上水道は、恒久的なリスク管理等を勘案し、東京都との水道事業の一元化について、引き続き協議・調整を進め、下水道は、合流式下水道改善事業と水害対策上必要な汚濁雨水貯留施設の整備を、地域の皆さまに理解を求めながら進めます。

新武蔵野クリーンセンター（仮称）は、平成29年度の稼働をめざし、周辺地域の皆さまにも喜んでいただけるような武蔵野市のシンボルとして、技術の粋を活かした誇れる施設にしていきたいです。

（魅力あふれる都市づくり）

今春改定予定の都市計画マスタープランに示される全体構想、地域別構想に基づき、多様な主体の協働によるまちづくりを進めます。また、公共交通機関、自転車や自家用車など、各交通機関や移動手段のバランスにも配慮した交通体系の構築をめざします。

（地域経済の活性化）

吉祥寺では、各商店街で魅力ある個店・商店街づくりを進めていただくことで、地域の回遊性を確保し、地域全体の活性化を図ります。市内の商店街は、商店会組織の強化を図るとともに、地域と連携して新たなサービスを生み出すような、地域に支えられた元氣な商店街づくりを支援します。また、都市農業を守るための施策を着実に実行するとともに、市内産の農産物のPRも積極的に行います。

⑤ 安定的な市政運営

（効率的で質の高い市民サービス）

事務事業の見直し、職員定数の適正化や資産の有効活用等を継続的に実施することにより、引き続き効率的な市政運営を進めます。

すべての職員が、武蔵野市職員行動指針に基づき、市民感覚を大切に、相互に連携しながら質の高い公共サービスを提供していきます。

（計画に基づく市政の運営）

財政規律を維持しながら公共サービスを提供していくためには、計画行政の重要性がますます高まります。このような観点に立脚しながら、長期計画や各個別計画の策定を進めるとともに、計画的な市政運営を進めていきます。

（平成23年度施政方針並びに基本的施策より抜粋）

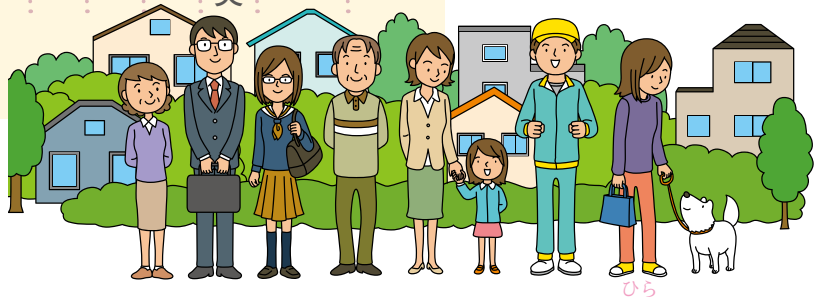
予算案と 施策のあらまし

○編成方針

平成23年度予算は、「地域の力を育み、自治の未来を拓く予算」と位置付け、最終年度となる第4期長期計画・調整計画の事業を着実に実行するため、限られた財源を計画的、効率的に配分することを基本に編成しました。

○予算のポイント

- 1 市民の健康増進及び高齢者・障がい者を守る福祉の充実
- 2 子育てしやすい環境及び教育環境の充実
- 3 持続可能な環境共生都市づくり
- 4 活力ある都市を目指して
- 5 安全・安心なまちづくり
- 6 市民文化の創造へ向けて
- 7 新たなまちづくりの時代へ
- 8 都市のリニューアルの推進
- 9 市民との協働時代へ向けての取組み
- 10 健全な財政運営と市役所改革の推進



「地域の力を育み、自治の未来を拓く予算」

○一般会計歳出予算の 主な性質別構成比率

(単位：%)

区分	構成比率		予算増減率
	平成23年度	平成22年度	
物件費	24.7	23.9	3.5
扶助費	20.2	18.7	7.7
人件費	17.7	20.4	△13.7
投資的経費	11.9	12.9	△8.2
補助費等	10.7	10.2	4.7
繰出金	8.8	7.8	12.7
公債費	4.6	4.6	0.3

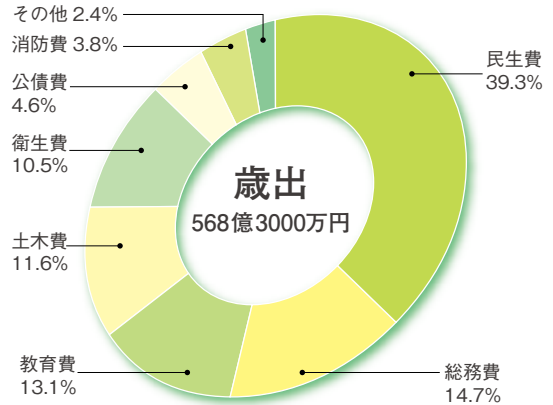
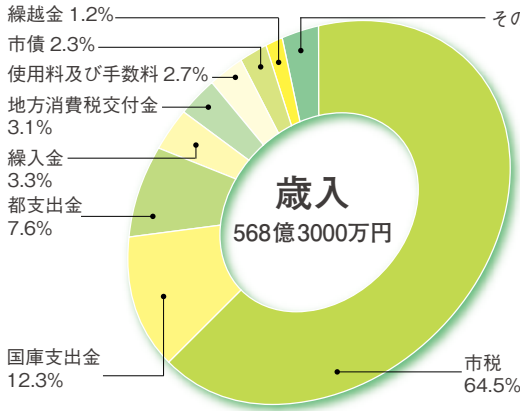
○会計別予算額

会計名	平成23年度	平成22年度	比較	
			増減額	増減率
一般会計	568億3000万円	569億4000万円	△1億1000万円	△0.2%
下水道事業会計	28億1862万円	35億7949万円	△7億6087万円	△21.3%
国民健康保険事業会計	116億8206万円	113億7228万円	3億978万円	2.7%
老人保健(医療)会計	0円	2277万円	△2277万円	皆減
後期高齢者医療会計	28億6178万円	27億3843万円	1億2335万円	4.5%
介護保険事業会計	96億6247万円	90億403万円	6億5844万円	7.3%
総計	838億5493万円	836億5700万円	1億9793万円	0.2%

一般会計予算 **568 億 3000 万円**

市民1人あたり：41万9113円
1世帯あたり：80万2151円

○平成23年度 歳入・歳出予算構成比



○市民1人あたりの目的別予算額 ()は前年度予算

<p>市民の人数</p> <p>13万5596人</p> <p>平成23年1月1日現在</p>	<p>1人あたりの予算額</p> <p>41万9113円</p> <p>(42万2209円)</p>	<p>高齢者、障害者福祉などのために</p> <p>10万4846円</p> <p>(10万939円)</p>	<p>子育て支援のために</p> <p>6万2901円</p> <p>(5万7051円)</p>
<p>学校教育、図書館やスポーツ振興に</p> <p>5万5142円</p> <p>(6万6734円)</p>	<p>道路、公園整備などまちづくりに</p> <p>4万9766円</p> <p>(4万8448円)</p>	<p>行政運営のために</p> <p>4万5410円</p> <p>(5万381円)</p>	<p>ごみ処理、環境保全のために</p> <p>2万8698円</p> <p>(2万7408円)</p>
<p>市債の償還に</p> <p>1万9222円</p> <p>(1万9274円)</p>	<p>市民の健康を守るために</p> <p>1万6165円</p> <p>(1万5200円)</p>	<p>消防、防災対策に</p> <p>1万5837円</p> <p>(1万7249円)</p>	<p>文化、コミュニティ、国際交流のために</p> <p>1万2141円</p> <p>(1万1182円)</p>
<p>市議会運営に</p> <p>4075円</p> <p>(3067円)</p>	<p>商業振興や消費者保護のために</p> <p>3471円</p> <p>(3840円)</p>	<p>その他</p> <p>1439円</p> <p>(1436円)</p>	

○複数年度にわたる建設事業

(単位：千円)

事業名	庁舎給排水管等改修事業		八幡町コミュニティセンター建設事業		鉄道連続立体交差事業		都市計画道路3・4・27号線事業	ひと・まち情報創造館 武蔵野プレイス建設事業	合流式下水道改善事業 (吉祥寺ポンプ場跡地)	
	事業年度	年度	事業年度	年度	事業年度	年度	事業年度	年度	事業年度	年度
	平成 23～24	23	平成 22～24	23	平成 7～25	23	平成 22～23	平成 17～23	平成 23～24	23
事業費	280,180	234,620	123,104	100,800	189,282	714,104	15,500	43,568	480,868	362,815

※事業費は平成23年度は予算額、24年度以降は概算額

美しい街並みを形成します

◎都市計画高度地区変更等高さ制限の具体化 262万円

地域の実情に合わせた高さ制限について、住環境の保全や街並み形成などの観点から検討し、都市計画高度地区等による高さ制限の具体化を進める。

◎公共サインガイドライン策定 250万円

公共施設までの経路を示す誘導サインなど、市が歩道等に設置・管理する歩行者用サインについて、利用者の利便性やユニバーサルデザインを考慮した統一的なサインとしていくため、デザインや構造等の基準に関するガイドラインを策定する。

◎景観道路事業 1億3173万円

美しい道路景観、歩いて楽しい道づくりや安全・安心なまちづくりを目的に、景観整備路線の事業化を図る。市道第308号線（境南町1丁目）の電線共同溝工事などを行う。



整備が進む市道第308号線

交通の利便性を向上します

◎ムーブスへの交通ICカードの導入 3853万円

武蔵野市地域公共交通活性化協議会に交付される国費補助を活用し、公共交通機関が発行するICカード「スイカ」や「パスモ」での乗車を可能とするため、車載料金機、バス事業者のメインサーバの改変など整備を行う。



ムーブス

◎武蔵境駅周辺鉄道高架下暫定駐輪場整備 400万円

武蔵境駅周辺の駐輪対策は、東日本旅客鉄道株式会社および西武鉄道株式会社と連携し取り組む。鉄道事業者から駐輪場用地を借り上げ、駅周辺の鉄道高架下に民間等専門機関を活用して約3,000台の暫定駐輪場を新たに整備し、既存の駐輪場とあわせて約4,000台の駐輪場を確保する。

地域経済の活性化と農業の振興

◎商店街活性化のための企画提案型補助金の創設 600万円

商店街の活性化と商店会の組織力の強化のため、それぞれの地域の特性に合った事業を実施できるよう、企画提案型補助金を創設する。単独または複数の商店会が共同で行う商業活性化に資する事業の企画を募り、補助事業審査会による審査で補助を決定する。

◎農業振興施策の継続実施 1428万円

平成22年度に改定した武蔵野市農業振興基本計画に基づき、登録農地育成事業やここのとりベジタブル事業、フレッシュサラダ作戦事業などのさまざまな農業施策を実施し、市内農業の振興を図る。

地域の力を生かすために

◎市民活動促進基本計画（仮称）の策定 537万円

地域における公益的な市民活動のあり方などについて、現在のNPO活動促進基本計画に続く平成24年度から10年間の計画を、策定委員会を設置し、市民活動団体に対する調査やパブリックコメントを実施して策定する。

◎八幡町コミュニティセンターの建替 1億2310万円

八幡町コミュニティセンター（八幡町4-10-7）を旧千川小学校プール跡地（八幡町3丁目349-3、350）に移転・新築することで、コミュニティ活動の拠点を整備する。建築工事とそれに伴う各種調査を行う。



「みんなでつくる！新八幡町コミュニティセンターワークショップ」の様子

ライフラインの整備

◎合流式下水道改善事業 4億8087万円

吉祥寺ポンプ場跡地（吉祥寺東町4-18）に、貯留施設（約1,200m³）を平成24年度までの2か年で整備する。

◎雨水貯留浸透施設設置事業 5580万円

市立第一小学校に500トン分の雨水貯留浸透施設を設置する。※平成22年度末で、中学校3校、小学校6校、公園2カ所に設置。合計5,300トン分の雨水貯留浸透施設整備が完了。

◎上水道耐震化工事 3億9232万円

災害時にも安全でおいしい水の安定供給ができるように、配水管を新設するほか耐震性に劣る配水管（铸铁管・ビニル管）を耐震性ダクタイル铸铁管に取り替え、配水管網を整備する。



配水管の布設替え工事の様子

「武蔵野で暮らしたい」を応援

◎住み替え支援事業 142万円

住み替えをサポートする総合受付窓口を武蔵野市開発公社に設置するほか、住み替えに際し耐震改修が必要な住宅には、耐震改修費用に対する助成を増額する。

また、市内には多数の空き家があり、都市景観・防犯・防災面での問題が懸念されている。この住み替え支援事業により空き家の増加防止・有効活用を検討を図る。

平成 23 年度

特徴ある事業

子育てをしっかりとサポート

◎学童クラブ土曜日開所試行

1603万円

地域子ども館と連携・協力しながら、学童クラブを土曜日も試行的に開所し、保護者の就労などにより土曜日の監護が必要な小学校低学年児童を受け入れる。運営方法について地域子ども館と各こどもクラブとの協議が整い次第、順次実施する。



学童クラブ

- ・開所日：毎週土曜日（年末・年始および祝日を除く）
- ・実施場所：地域子ども館および学童クラブ育成室

◎子ども家庭支援センターの設置

3347万円

ひとり親家庭を含めた家庭への相談体制と地域の子育て支援をさらに充実させるため、子育て SOS 支援センターを改組し、子ども家庭支援センターを設置する。同センターにて DV 対策、相談事業、産前産後支援ヘルパー事業などを実施し、子育て支援ネットワークの各機関との連携を進めながら、子育てに不安を持つ家庭への支援を行う。

◎賃貸物件を活用した緊急待機児対策事業

2970万円

待機児解消に向けた緊急対策として、UR都市機構の協力のもと、賃貸物件を活用したグループ保育事業を試行実施する。

豊かな学びを支える学習環境の整備

◎小中学校空調設備設置事業

9億6000万円

すべての市立小中学校（設置済みの千川小学校を除く小学校11校、中学校6校）の普通教室および特別教室の一部などに、環境負荷の少ない空調設備を設置する。夏季休業期間に工事をを行い、9月から使用する。

◎外国語指導助手と理科専科教員の充実

1876万円

①外国語指導助手の配置

小学校の外国語活動をサポートする外国語指導助手を、市立小学校全12校に、1学級につき35時間配置する。

②理科専科教員の配置

中学校の学習への円滑な移行を図るため、高学年の理科の授業を行う専科教員を、市立小学校10校（教員の加配により対応済みの2校を除く）に、1校につき70時間配置する。

安心して暮らし続けられるまちへ

◎健康福祉総合計画・地域福祉活動計画の策定

976万円

今後6年間を見通し、平成24年度を始期とする地域福祉計画、高齢者福祉計画・介護保険事業計画、障害福祉計画、健康推進計画を「健康福祉総合計画」として一体的に策定する。また、市民社会福祉協議会が地域福祉活動の指針として定める、第3次地域福祉活動計画の策定を支援する。

平和の尊さを次世代につなぐ

◎平和啓発事業

166万円

①平和イベント

11月24日前後に、平和や武蔵野の空襲にちなんだパネル展や講演会、コンサートなどの平和啓発イベントを開催する。

②平和案内説明板設置

平成22年度に引き続き、市内の戦争・平和に関連する場所に案内説明板を設置する。

③非核都市宣言平和事業

地域団体や平和団体からの委員や、公募委員で組織される非核都市宣言平和事業実行委員会により、写真パネル展などの平和啓発事業を実施するとともに、戦争体験の聞き取り調査を行う。



市民平和フォーラム(平成22年11月)

地球環境・周辺環境に配慮したグリーンセンターを建設します

◎新武蔵野グリーンセンター(仮称)建設事業

1億4838万円

市民、学識経験者などが参加する「施設基本計画策定委員会」の提言を基に、施設基本計画を策定し、施設基本設計や生活環



境影響調査を進めるほか、「施設・周辺整備協議会」の提言による新武蔵野グリーンセンター(仮称)施設・周辺整備の方向性について、引き続き、周辺住民の方々の意見を取り入れながら、具体化を図っていく。

また、新武蔵野グリーンセンター(仮称)の建設は全市民の問題であるため、グリーンセンターやごみ処理問題に関する啓発イベントなどを実施する。

◎グリーンセンター周辺道路整備

4300万円

グリーンセンター周辺整備の一環として、平成22年度の市道第41号線NTT研究開発センタ側歩道整備に引き続き、緑町コミセン前から市営プール前交差点にかけての歩道を新設し(幅員約2m、延長約200m)、エコセメント製のインターロッキングブロックによる景観舗装を行う。

小規模企業者への補助事業	5463万円
都市観光の推進	
◎ 文化伝統事業支援補助(吉祥寺薪能)	200万円
観光推進機構運営事業	3002万円
真に豊かな消費生活の推進	
○ 消費生活センターの管理運営	2650万円
防犯性の高い快適なまちづくり	
◎ 繁華街における安全・安心改善事業	1600万円
生活安全対策(ホワイトイグル・ブルーキャップ・市民安全/トロール隊)	1億618万円
防災態勢の強化	
◎ 赤十字公園設備等撤去工事	1743万円
災害用備蓄倉庫改修	226万円
○ 災害用トイレの整備	1870万円
○ 気象観測システム更新	352万円
市民活動の活性化と協働の推進	
八幡町コミュニティセンターの建替え	1億2310万円
平成22～24年度の3ヵ年事業 総事業費 2億4056万円 平成22年度決算(見込)額 1666万円 平成24年度予定額 1億80万円	
◎ 市民活動促進基本計画(仮称)策定	537万円
市民協働推進事業	518万円
男女共同参画社会の実現	
男女共同参画施策の推進	1551万円
都市・国際交流の推進	
ルーマニア・ブラショフ市との交流事業	1319万円
友好都市アンテナショップ運営事業	529万円
○ 外国語版「国保のしおり」改訂	120万円
生涯スポーツの振興	
◎ 総合体育館メインアリーナ等改修事業	2億236万円
○ 国体・障害者スポーツ大会推進事業	149万円
特色ある市民文化の発展	
平和啓発事業	166万円

4 都市基盤

地域の特色を活かすまちづくりの推進	
◎ 都市計画高度地区変更等高さ制限の具体化	262万円
○ 景観道路事業	1億3173万円
利用者の視点と発想を重視するまちづくり	
○ 公共施設改良保全整備	7452万円
◎ 公共サインガイドライン策定	250万円
環境舗装事業	1億6770万円
上水道の整備・充実	
配水管網整備の推進	3億9232万円
浄水場・取水施設改良工事	1億8855万円
下水道の再整備	
○ 雨水浸透施設助成事業	2000万円
臭気対策支援事業	150万円
○ 合流式下水道改善事業	4億8087万円
平成23～24年度の2ヵ年事業 総事業費 8億4368万円 平成24年度予定額 3億6281万円	
○ 雨水貯留浸透施設設置事業	5580万円
◎ 長寿命化計画策定	1000万円
道路ネットワークの整備	
道路新設改良事業	3億2440万円

橋りょう新設改良事業	3200万円
○ 都市計画道路3・4・27号線事業	1550万円
平成22～23年度の2ヵ年事業 総事業費 2270万円 平成22年度決算(見込)額 720万円	
都市計画道路7・6・1号線(御殿山通り)事業	1億2335万円
狭あい道路拡幅整備事業	4966万円
安全で円滑な交通環境の整備	
◎ 武蔵境駅周辺鉄道高架下駐輪場整備	400万円
○ 吉祥寺駅周辺自転車放置防止の強化	4722万円
◎ ムーバス・交通ICカードの導入	3853万円
住宅施策の総合的展開	
民間住宅耐震診断助成事業	635万円
民間住宅耐震改修助成事業	1050万円
◎ 住み替え支援事業	142万円
◎ 市営住宅・福祉型住宅の適切な管理の検討	193万円
住宅とまちの防災対策の推進	
建築物耐震性相談事業	126万円
安全・賑わいのまちづくり促進型耐震助成	890万円
吉祥寺圏の都市基盤整備	
都市計画道路3・3・14号線(南口駅前広場)事業	5300万円
吉祥寺方式物流対策委員会	120万円
中央圏の都市基盤整備	
◎ 三鷹駅北口周辺地区の再整備方針の検討	50万円
武蔵境圏の都市基盤整備	
鉄道連続立体交差事業	1億8928万円
平成7～25年度の19ヵ年事業 総事業費 49億5319万円 平成7～22年度決算(見込)額 40億4981万円 平成24年度以降予定額 7億1410万円	
武蔵境駅舎周辺環境整備事業	722万円
都道123号線拡幅整備事業	2530万円
○ 武鉄中付第1、第2、第3号線整備事業	1億9700万円

5 行・財政

市民パートナーシップの積極的推進	
分権と協働の時代における自治体運営の検討	65万円
市民と市長のタウンミーティング	133万円
市民雇用創出事業	6億6719万円
市民ニーズに応えるサービスの提供	
◎ 文化施設・体育施設の予約システム更新	6118万円
電子自治体共同運営	1161万円
○ 国民健康保険税収納管理システム改修	1083万円
積極的な情報発信と情報セキュリティの徹底	
○ ホームページの再構築	1109万円
◎ 例規類集・要綱集管理システム再構築	1557万円
◎ 住民情報系システム再構築	3150万円
健全な財政運営の維持	
◎ 施設整備計画立案のための公共施設外壁調査	242万円
○ 公共施設劣化保全整備	6億6028万円
時代の変化に対応する柔軟な行政運営	
第五期基本構想・長期計画策定	1348万円

平成 **23** 年度
**予算の
 主要な施策**

◎：新規事業
 ○：拡充事業

1 健康・福祉

健康で暮らしつづけるための施策

- ◎ 健康福祉総合計画・地域福祉活動計画の策定 976万円
- ◎ 子宮頸がん等ワクチン接種事業 1億4156万円
- 乳・子宮がん検診 1億4097万円

就労・自立支援と社会参加の推進

- 障害者就労支援センターあいの充実 3493万円
- 障害者自立支援給付事業（放課後対策分は除く）18億3690万円
- 引きこもりサポート事業 481万円

地域で支えあう福祉のまちづくり

- 災害時要援護者対策事業 175万円
- テンミリオンハウス事業 9295万円

安心して暮らせるまちづくり

- 被保護世帯援護事業 38億2999万円
- ◎ 高齢者訪問相談事業 350万円
- 緊急ショートステイ事業 1136万円
- 認知症高齢者支援事業 1217万円
- 地域リハビリテーション推進事業 68万円
- みどりのこども館の管理運営 8748万円
- 障害児の放課後対策の充実 2737万円
- リハビリ専門相談及び中途障害者デイサービス 1803万円
- 家族介護支援事業 1935万円

サービスの質の向上と利用者の保護

- ケアマネジャー研修センター運営事業 192万円
- 認定調査体制の強化 3512万円

サービス基盤の整備

- 介護保険利用者負担額助成事業（5%助成） 2647万円
- 通所サービス利用者食費助成事業（200円助成） 1385万円

2 子ども・教育

子育て支援施策の総合的推進

- 私立幼稚園等助成事業 3億1297万円
- 子ども家庭支援センター事業 3347万円
- 児童扶養手当等支給事業 4億284万円
- 子ども手当支給事業 25億3348万円
- 保育の質向上の取組み 773万円
- ◎ 賃貸物件を活用した緊急待機児童対策事業 2970万円

- 病児・病後児保育事業の充実 1605万円
- ◎ 子ども協会立保育園（千川、北町）運営事業 5億405万円
- 親子のふれあいと家庭への啓発**
- 家族で手作り・楽しい食卓キャンペーン事業 46万円
- 子育て支援事業 744万円
- 子育て支援施設の整備**
- ◎ 境こども園（仮称）実施設計他補助事業 1億2353万円
- ◎ 子ども協会立北町保育園実施設計他補助事業 6652万円
- 学校教育の充実**
- ◎ 小・中学校空調設備設置工事 9億6000万円
- 小学校外国語活動指導員の派遣 828万円
- 小学校高学年における理科専科教員の配置 1048万円
- ◎ 学校図書館システム更改 627万円
- 教育用コンピュータ（パソコン教室）更改 5595万円
- 音楽クラブ楽器購入・修繕 795万円
- 一般財団法人武蔵野給食・食育振興財団に対する調理業務委託 6億8968万円
- 特別支援教育推進事業（学校支援人材の派遣） 1067万円
- 青少年施策の充実**
- 市立自然の村の管理運営 4256万円
- 地域子ども館事業 1億3002万円
- 学童クラブ事業 1億8874万円
- 児童館運営事業 2096万円
- 生涯学習施策の拡充**
- ◎ ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイスの管理運営 5億1018万円

3 緑・環境・市民生活

持続可能な都市の形成

- ◎ 省エネ法等による中長期計画等策定支援業務 500万円
- 市域CO₂排出削減推進事業 350万円
- 二酸化炭素排出削減行動助成事業 1715万円
- 太陽光発電設備の設置 4015万円
- 武蔵野市公共施設省エネ改修事業 1300万円
- レジ袋削減の推進 247万円
- 剪定枝葉資源化事業 1446万円
- 集団回収事業 4241万円
- ごみ減量協働事業 170万円
- プラスチック製容器包装（硬質プラ）資源化事業 378万円
- ◎ 生ごみ資源化三市共同研究 15万円
- 新武蔵野クリーンセンター（仮称）建設事業 1億4838万円
- ◎ クリーンセンター周辺道路整備 4300万円

緑豊かな都市環境の創出

- 公園等建設事業（千川上水整備事業を除く） 15億4403万円
- 緑の表彰顕彰制度 58万円
- 未来へ育て！苗木すくすく大木計画 155万円

身近な自然の回復と保全

- ◎ 千川上水整備事業 300万円
- 仙川水辺環境整備事業 1億6970万円

農業の振興

- こうのとりベジタブル事業 185万円
- 登録農地育成事業 200万円

商工業の振興

- ◎ 商店街活性化・商店会組織力強化のための企画提案型補助金 600万円
- 武蔵野活性化委員会補助事業（商工会議所補助事業） 284万円
- 装飾街路灯維持管理経費補助事業 680万円
- 新・元気を出せ商店街事業 6907万円